

進化経済学会ニュースレター No.1

June 1997

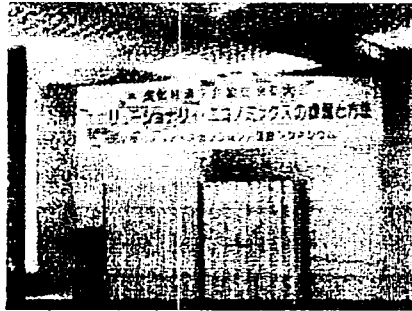
進化経済学会事務局

606京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部 気付

URL <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/societies/evolution>

fax 075-753-3492 (経済学部事務室)

e-mail yagi@econ.kyoto-u.ac.jp



21世紀の学際的経済学をめざして

昨年3月末のよびかけから1年を経て、進化経済学会がついに誕生しました。200人収容のホールでしたが、椅子をどんどん付け足しても、立たなければならない参加者が出るほどの盛況でした。第1日午前の学際パネルでは、複雑系、進化行動学、進化倫理学、ゲーム理論と多彩な学際的パネル・ディスカッションがおこなわれ、参加者の知的興奮を大いにたかめました。総会自体は波乱なく終了しましたが、熱気は持続していました。主催校の京都大学井村総長の来賓挨拶のあと、リチャード・ネルソン、ウルリッヒ・ヴィット、児玉文雄の3氏による国際シンポジウム Evolutionary Economics - What' On? がおこなわれました。3氏の報告は、いずれも学際的な視野と歴史的経路に開かれた理論研究を促すものでした。

第2日は3会場にわかれた研究報告会でしたが、どの会場でも既存の通念とスタイルに挑戦する内容の報告と手法に挑戦的な報告を受けて熱心な討論がくりひろげられました。最後のフェアウェル・ジャム・セッションは、本来は総括的な議論の場として設けられたものですが、みな議論に疲れ果てたためか(ビールがテーブルに出たためか)歓談会になってしまいました。

(なお、この設立大会のペーパーのすべてを収録した『進化経済学論集1』が96年度会員に配布されましたが、なお余部があります。小冊子『進化経済学のすすめ』とともに、送料込み2千円でお届けしますので、大会以後に入会された方、その他ご希望の方は事務局までご注文ください。)

進化経済学会設立総 会報告

3月28日 午後2時から3時 京大会館に開催された会合で、進化経済学会発起人会は進化経済学会に移行しました。会員総数は3月15日現在の発起人368名に入会申込者74名、さらに当日入会申込者38名を加えて480名と総会席上で報告されました。(大会で受けが開いている間に当日入会者はなお10名増加して翌日には計48名に達しましたので、変則ですがこれも事後的にご承認いただくと会員総数は490名となります。重複その他チェックが必要ですので、夏までには名簿を作成・配付して確定したいと思います。なお、招待会員として国際シンポジウムの講師の二人(リチャード・R・ネルソン、ウルリッヒ・ヴィット)が推薦され、大会の承認を得ました。また、団体賛助会員として1団体の加入が承認されました。

役員は以下のように設立準備委員会から提案され、一括承認されました。

会長 瀬地山敏 (京都大学大学院経済学研究科)

理事 浅田統一郎(中央大学経済学部)・有賀裕二(中央大学商学部)・池上惇(京都大学経済学部、4月から福井県立大学)・今井賢一(スタンフォード大学)・大島真理夫(大阪市立大学経済学部)・岡村東洋光(九州産業大学経済学部)・金子勝(法政大学比較経済研究所)・加護野忠男(神戸大学経営学部)・川勝平太(早稲田大学政治経済学部)・黒川和美(法政大学経済学部)・児玉文雄(東京大学先端科学技術研究センター)・酒井泰弘(筑波大学社会科学系)・塩沢由典(大阪市立大学経済学部)・塩野谷祐一(社

会保障研究所)・杉浦克己(東京大学大学院総合文化研究科)・鈴木興太郎(一橋大学経済研究所)・辻正次(大阪大学大学院国際公共政策研究科)・根岸隆(青山学院大学国際関係学部)・西部忠(北海道大学経済学部)・西村清彦(東京大学経済学部)・西山賢一(埼玉大学経済学部)・長谷川真理子(専修大学法学部)・平山朝治(筑波大学社会科学系)・弘岡正明(流通科学大学)・本間正明(大阪大学大学院国際公共政策研究科)・室田武(同志社大学経済学部)・八木紀一郎(京都大学大学院経済学研究科)・山田鋭夫(名古屋大学経済学部)・山脇直司(東京大学大学院総合文化研究科)・吉田和男(京都大学大学院経済学研究科) 以上30名

また、来年度大会は3月下旬、東京大学駒場キャンパスということで準備することになりました。

【会計】 設立大会を含む1996年度会費は5千円です。まだの方は、お早めに進化経済学会名義郵便振替口座01030-1-22493にご入金ください。1997年度会費は1万円で、これもお納めくださるとありがたく存じます。(大学院生の方はいずれも半額です。)なお、領収証はとくに発行しませんので、払込証をご保存ください。

1997年4月8日 進化経済学会事務局

八木紀一郎/吉田和男



第1回理事会報告

大会第2日(1997年3月29日午後1時から1時半)に第1回理事会が開催されました。

<出席者>: (会長) 瀬地山 敏 (理事) 浅田 統一郎・有賀 裕二・岡村 東洋光・金子 勝・酒井 泰弘・塩沢 由典・杉浦 克己・辻 正次・西部 忠・西山 賢一・平山 朝治・弘岡 正明・室田 武・八木 紀一郎・山田 鋭夫・山脇 直司・吉田 和男 以上18名

1. 常任理事の選出

常任理事は会務の分担のために理事会で互選するものなので、第1期内で適宜補充や交替がありうるものという了解のもとに、次の7名を常任理事とした:

有賀裕二・岡村東洋光・塩沢由典・杉浦克己・八木紀一郎・山脇直司・吉田和男

なお、常任理事会のもとにおかれる事務局は、京大の吉田和男研究室と八木紀一郎研究室で担当することとした。

2. 会計細則

会計期間と予算・決算の承認のタイミングをどうするかについて議論があった。今期会計年度は第1回大会の会計処理終了後にそれを含めて決算とするが、次年度(1997年度)についても同様になる。会員総会での報告と承認が遅れることについては、秋の理事会で審議し、それを通ったものを会員に伝え検討してもらった上で、総会で承認することで対処できるのではないかと考えられるので、その方向で会計関連の細則を整備することとした。

3. 監査委員委嘱

富森虔児会員(桜美林大学)と高寺貞男会員(大阪経済大学)に委嘱することに決定。

4. 役員選挙について

2年後の役員選挙の実施法を決めるために、常任理事会にその案の作成を依頼した。

5. 理事会の運営について

理事会の運営細則案を作成するように、常任理事会に依頼した。

6. 部会の承認・運営について

岡村東洋光会員(理事)から参加会員名簿とともに提案された九州地方部会の設立を承認した。なお、運営や財政補助のあり方についてはこれから検討する。

7. 来年度大会

来年度大会を実施するために、杉浦・山脇両理事に、大会実行委員会を組織し、その名前で各種の準備を開始することを依頼した。(その後、1998年3月28(土)ー29(日)日で準備したいとの連絡が事務局に伝えられた。プログラム等の正式決定は秋の第2回理事会でおこなう。)

8. 次回理事会

次期理事会は、変更ありうるものとして、9月20日(土)の日程に東京で開催する。

以上:文貴 事務局担当 八木紀一郎



学際パネルの情景

進化経済学会オートム・コンファレンス

エヴォリュージョナリイ・エコノミクスと 経済学のフロンティア

司会 瀬地山敏・山脇直司

<話題提供>

歴史学派・シュンペーターの現代的意義	塩野谷祐一
情報・リスクと制度・進化	酒井泰弘
開発経済学における文化・進化	原洋之助 (交渉中)
マルクス・進化経済学的方法的課題	杉浦克己

9月20日 午後2時から5時

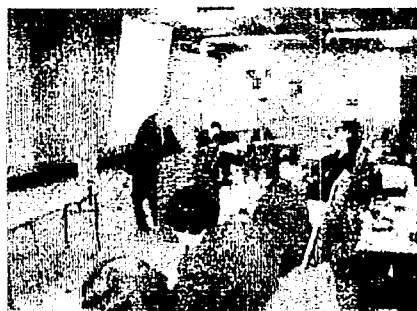
東京大学駒場キャンパス1313教室(13号館1F)

京王帝都線の頭線(普通)駒場東大前駅下車

正門は行って左、講堂から北へすみ銀杏並木どおりに入口

1998年3月28・29日の進化経済学会・東京大会に先立って、オートム・コンファレンスを以下の要領で行います。進化経済学へのそれぞれのイメージを語り、積極的に討論する機会をもちたいと思います。奮ってご参加ください。

第2回大会実行委員会
東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻
杉浦克己・山脇直司



ネルソン講演



ヴィット講演

出版企画

・ 設立大会の初日の学際シンポジウムと国際シンポジウムに加えて、昨年9月の発起人会シンポジウム「進化経済学:さまざまなイメージ」をもとにし、それを拡充した出版の企画が有斐閣とのあいだで進んでいます。これは今年度中に刊行し、財政事情が許さざり、会員に配布できるようにしたいと思っています。

- ・ 定期的な出版についても、好意的な出版社と協議しています。9月20日の第2回理事会で主要事項を決定し、編集委員会を発足させる予定です。

メイリングリスト *evoecolist*

進化経済学会には会員相互の交流のためのメイリングリストを持っています。

電子メールアドレスを取得された方は、

yagi@econ.kyoto-u.ac.jp までご連絡ください。なお、学会ホームページ(<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/societies/evolution>) も一度ごらんください。



第2日セッション情景

AFEEとの連携

雑誌 Journal of Economic Issues を刊行しているアメリカ制度学派の学会 Association for Evolutionary Economics との連携がすすんでいます。Karl Polanyi や Galbraith の研究のある Ron Stanfield と開発経済学を制度主義の視点から研究している John Adams が来春の東京大会に参加する希望を表明し、現在その準備中です。

九州地方部会成立

岡村東洋光(九州産業大学)のご尽力により、九州地方部会が活動を開始しています。

連絡先: 〒813福岡市東区松香台 2-3-1
九州産業大学経済学部 岡村研究室
電話:092-673-5217(直通)
ファックス:092-673-5919(学部)
E-mail:okamura.t@ip.kyusan-u.ac.jp

事務局からのお願い

・今年度会費1万円(大学院学生は半額)

をご納入ください。振込先は、「進化経済学会」名義郵便振替口座 01030-1-22493 ですが、納入済みの方を除いて振込み用紙を同封しました。

・名簿の整備中ですので、住所・所属・連絡先電話およびFax番号、あるいは E-mail アドレスの変更などございましたらご連絡ください。



第2日セッション情景

進化経済学会・非線形問題研究部会準備会シンポジウム

平成9年7月3日(木) 17時-19時

「進化経済学と非線形問題研究」

パネリスト・出口弘氏(京都大学経済学部)

「ヴァーチャルエコノミー」

吉田雅明氏(専修大学経済学部)

「並列処理経済系」

司会・有賀裕二(中央大学商学部)

場所・中央大学2号館4階企業研究所会議室

関連企画

平成9年7月10日(木) 15時-17時 [講師了承、事務計画中]

中央大学経済研究所公開研究会

「複雑系の経済学」

講師・塩沢由典氏

(大阪市立大学経済学部)

会場:中央大学2号館4階経済研究所共同研究室

連絡先:中央大学商学部有賀裕二

E-mail: aruka@tamacc.chuo-u.ac.jp

[http://comlink1.tamacc.chuo-](http://comlink1.tamacc.chuo-u.ac.jp/arukaHP)

[u.ac.jp/arukaHP](http://comlink1.tamacc.chuo-u.ac.jp/arukaHP)

第2回 進化経済学会東京(駒場)大会報告募集 CALL FOR PAPERS

エヴォリュショナリイ・エコノミックス と 経済学のフロンティア

1998年3月28・29日(土・日)
東京(東京大学駒場キャンパス)

バブル崩壊以後の日本経済は、不透明感を増している。制度疲労、ことに官主導のひずみや日本的な生産・経営システムが狙上に乗せられ、一律的な規制緩和推進論と行き過ぎた市場主義への批判がかわるがわる唱えられている。だが、社会科学の世界では、市場の効率的調整機能の理解からさらに進んで、市場秩序自体が、環境的制約のもとで、既存の社会の伝統・慣習・倫理に支えられていること、また、経済の進化的発展が、新しい要素を生み出すと同時に、既存の要素を選択的に保存するプロセスであることの認識の高まりがある。制度・システム・組織・技術が進化するメカニズムやダイナミックス、およびその背景となる知識への関心の高まりは、広く社会科学全般に見られる。なかでも経済学においては、市場と社会の相互作用を包括的にとらえようとした社会人類学・社会経済学、環境と経済社会との相互進化をみつかった環境経済学、市場秩序の合理的な説明を追求した法経済学・立憲経済学、複雑系の科学やゲームの理論による制度と進化の理論、取引費用論による制度・組織や制度変化の理論、さらにはヴェブレン、コモンズを継承する制度学派の活性化など、現在経済学のフロンティアを拡大しつつある最も力強い原動力が制度とその進化を主題としている。わたしたちの進化経済学会は、このような理論的・実証的活動の研究フォーラムとして機能することが期待されている。

進化経済学会・東京大会は、「エヴォリュショナリイ・エコノミックスと経済学のフロンティア」をテーマとする。ただし、そのことは、応募論文のテーマを制限するためのものではない。京都大会同様に広範な領域からの報告の応募をお願いしたい。

<応募要綱>

ペーパー提出希望者は、9月10日までに、タイトルとその簡略な説明を大会実行委員会に送ってください。採否の返事は、9月末になります。いま学会会員でなくても、学会加入の意思を表明していただければ、応募を受理します。採用の場合は、1月末までにA4版10ページ以内の複写可能な報告原稿にテキストファイル形式で入力したフロッピーディスクを添えて提出いただければ、予稿集に収録します。国際的に開かれた学会にするために、英文での報告原稿や英語での報告も歓迎します。

1997年6月12日

進化経済学会第2回大会実行委員会
〒153 東京都目黒区駒場3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻杉浦克己研究室
TEL.03-5454-6122 FAX.03-5454-4339
E-MAIL:sugiura@waka.c.u-tokyo.ac.jp あるいは yamawaki@waka.c.u-tokyo.ac.jp